

施策評価調書

施策名	3-1-1	自然環境の保全と景観形成		施策を取り巻く環境変化	麒麟麦酒醸造場木工場の閉鎖により麒麟麦酒のビオトープでの自然観察会が実施できなくなった。 平成23年3月11日に東日本大震災が発生し高根沢町も多大な被害がありました。 平成24年4月から景観条例が施行されます。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 43		
担当部課	住民生活部 環境課	担当 リーダー	環境担当 竹澤 伸一		

1. 住民意識調査結果

21年度(10月実施)		25年度(※実施予定)		26年度(※実施予定)	
満足度	27.4% 第3位/全36項目(自然環境の保全と景観形成)	満足度	第 位/全 施策	満足度	第 位/全 施策
優先度	40.7% 第28位/全36項目(自然環境の保全と景観形成)	優先度	第 位/全 施策	優先度	第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
指標1:環境基本計画の見直し実施	H22年度時点での実績	計画	実施	継続実施			
	未実施	実績					
指標2:環境学習参加人数:(人)	H21年度実績	計画	1,800人	1,850人	1,900人	1,950人	2,000人
	1,704人	実績					
指標3:		計画					
		実績					
指標4:		計画					
		実績					
指標5:		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	○指標1:環境基本計画の見直しは、サイクル総合計画の見直しも同時に実施する予定です。 ○指標2:環境学習参加人数は、関係事業の参加者総数としています。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
		当初	13,774	13,937		
	決算					

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

後期計画における施策展開のビジョン		H24年度の狙い
自己評価(部)	H22 事後評価	前期計画に基づき、環境学習はエコ・ハウスたかねざわを中心に民間の力を活用して実施することで、町民の参加は着実に増え施策の展開に貢献しています。今後これまでも同様に民間の力を活用することがより重要と考え、環境基本計画の見直しとあわせて、施策展開を含め関係機関との連携強化を進めていくことが必要と考えます。
	H24 事前評価	【1】環境基本計画の見直し(東日本大震災の影響により継続して取り組む)は、環境基本条例に基づき策定された本計画における各種施策の取り組みと検証を実施し必要な見直しを行い、環境基本計画に掲げる施策の実現をさらに推進します。 【2】環境学習への参加は、環境基本計画に掲げる基本目標①「豊かな自然を守り育み、自然と共生するふるさと」②「環境にやさしく、安心して暮らせるふるさと」③「手間、暇かけて協働で築く、人と環境に思いやりのあるふるさと」、これらの目標を実現するため、さらに民間の活用を進め、環境学習の拠点であるエコ・ハウスたかねざわを中心に関係機関との連携を強化しながら実施していきます。
総合評価(町長)	総合評価	エコハウスたかねざわを中心として、環境学習(意識啓発)をメインに施策展開していくという方向性を評価する。 民の力を活用した独創的な事業展開を期待するが、行政としても、必要な側面的支援を行っていくこと。 また今後においては、町としてのエネルギー政策のあり方(太陽光、原子力等の重要・供給の最適化)についても、議論を開始されたい。
	施策傘下事務事業に係る個別指摘事項	・「環境基本計画見直し事業費」については、指標管理とし、冊子の作成等は廃止されたいという意味合いで、「条件付継続事業」とする。 ・その他の施策傘下事務事業については、全て「継続事業」とする。